

No. 8

事業名	青年団体指導者研修事業（愛知県青年講座）
事業の特徴	体験活動を中心とした内容による青年指導者の育成と子ども対象事業との連携（子ども交流体験活動の企画・運営・まとめのスタッフなどで活躍）

実施機関名	愛知県教育委員会生涯学習課
連絡先	〒460-8534 愛知県名古屋市中区三の丸3-1-2 TEL 052-954-6780（ダイヤルイン） FAX 052-954-6962 URL http://www.pref.aichi.jp/kyoiku/shogai/index.html
事業規模	都道府県（政令指定都市を含む）
事業主体	教育委員会
事業のテーマ分野	自然体験活動（若者のボランティアリーダー養成）

1 事業の概要

愛知県青年講座は青年団体、子ども会、NPO、地域団体、企業や大学などで活動している若者を対象に、講座を通して小中学生を対象とした地域での体験活動の指導者として必要な知識を身に付けさせるとともに、企画力・運営力・指導力のスキルアップを図ることで、地域の教育力向上を図るものである。

全日程は5日間で前期（1泊2日）、中期（1日）、後期（1泊2日）の3期に分け、講義と演習、フィールドワークを組み合わせ実施している。



講義（アイスブレイクの指導）



演習（野外活動の指導）

講師は各分野で専門的な技術と知識を持ち、愛知県にゆかりのある、又は基盤を持つ人物を招いている。また使用する会場も各地域の社会教育施設を活用することによって、ハード面でも講座終了後の修了生の活動に資することを企図している。

2 事業の趣旨、目的

愛知県教育委員会では、社会教育指導者の資質向上を図るため、社会教育委員、PTA、女性等、対象者別の指導者研修を行っている。

愛知県青年講座は、青年団体指導者研修として昭和49年度から開催しているもので、地域社会で活躍する若者に対して、各時代の要請に応えられる指導者の育成を目指している。

平成19年度からは、「生きる力」をはぐくむためには子どもたちを指導するスキルを学んだ指導者の存在が不可欠であることを踏まえ、企画力、運営力、指導力を身に付けた青年指導者の育成を目指すため、実際のフィールドを活用したり、アクティビティを企画するプログラムを実施している。

講座の目的として、以下の3つを柱として設定している。

- ・地域社会の担い手として、現代的な課題に取り組むことができる青年の育成を図る。
- ・地域の青年団体及びボランティア団体の指導者として、事業の企画力や指導力を養う。
- ・地域の子どもの体験活動の指導者としての資質の向上を図る。

参加者はおおむね18歳から35歳で、県内に在住、在勤、在学する青少年教育や団体活動の経験のある青少年とし、平成20年度は30名を公募した。

講座修了生は、各団体の指導者として地域に根ざした社会教育を実践するほか、市町村や県の事業のスタッフとして活躍している。

3 事業の内容

(1) 学習の内容

平成20年度の講座は5日にわたり、6人の講師に依頼し、実施した。各講座とも講義と演習を組み合わせた形式で展開し、理論と実践をバランスよく学ぶことができるようプログラムが組み立てられている。1日目には受講生自身のコミュニケーション力を養成すべく、「人間関係トレーニング」「組織的キャンプ活動」をテーマにアイスブレイクやグループ活動について学んだ。2日目はメンタル面での理解を助ける「カウンセリング・マインド」の考え方を学び、また集団での協力や意思疎通をテーマとした「グループワークトレーニング」の講座を実施した。

3日目の中期は2005年の愛知万博の会場となった瀬戸市において、自然の残る里山を活用し、環境学習と体験学習をテーマにクラフトづくり等のノウハウを学び、森の樹木を利用した遊具づくりなどのフィールドワークを行った。

後期は実際にNPOで自然体験活動を提供している講師の講話を行った。それは今までの受講生たちの活動に気づきをもたらし、今後の活動の指針となるべきものとなった。

また指導者として多様な集団を導く際に必要な「コーチングの手法」や空間の広狭にかかわら

ず実施可能な「室内レクリエーション」をテーマに、より実際の場面をイメージした講義を展開した。

最終日には「野外実習のリスクマネジメント」として、体験活動でもっとも配慮が必要な安全や危機管理という観点を野外炊飯を行いながら実践的に学ぶことができた。

会場は前期・後期の宿泊研修を愛知県青年の家で、中期のフィールドワークは瀬戸市体育館と近隣の里山の自然を利用して実施した。

受講生大募集！
子どもの笑顔を支える
愛知県青年講座
企画力・運営力・指導力のスキルアップを目指す5日間の講座です

●青年期、子ども会、NPOの法人、地域団体、野外活動系サークル（企業や大学）などで活動する児童のための講座です。
●児童を主人公とする、運営を軸として必要な知識・技能を、魅力的な講師の指導のもと身に付けます。

前期	9月13日（土）～14日（日）	（1日2回）	会場：愛知県青年の家（岡崎市）
中期	10月4日（土）	（1日回）	会場：瀬戸市内の里山（瀬戸市）
後期	10月19日（土）～19日（日）	（1日2回）	会場：愛知県青年の家（岡崎市）

●●● 各講座を担当する魅力的な講師の紹介 ●●●

講座ちらし表面（講師及び講座内容）

受講生大募集！
子どもの笑顔を支える
愛知県青年講座
企画力・運営力・指導力のスキルアップを目指す5日間の講座です

●申込資格 ● 2018年10月1日現在18歳以上27歳未満の、現地に在住（転居）し、高学年者である、中学生・高校生・大学生・社会人（転居者）であること。
●申込人数 ● 50名以内（定員に達しない場合は、募集要項に記載のとおりです）。
●申込方法 ● 申込書に必要事項を記入し、〒465-0111 愛知県青年の家（岡崎市）〒465-0111 愛知県青年の家（岡崎市）〒465-0111 愛知県青年の家（岡崎市）に送付してください。なお、Eメールによる申込については、1週間以内に変更キャンセルを承れません。変更キャンセルの受付は、申込書に必ず「変更キャンセルの旨」を記載し、お送りください。
●申込料 ● 申込料金は500円（税込）です。申込料金は、講座の受講料として講座当日に徴収されます。また、定員に達しない場合は、返金もありません。
●お問い合わせ ● 愛知県青年の家（岡崎市）〒465-0111 愛知県青年の家（岡崎市）〒465-0111 愛知県青年の家（岡崎市）に電話またはメールでお問い合わせください。電話：0565-88-0000、FAX：0565-88-0000

講座名	講座内容	講師	講座時間
1. 企画力講座	「子ども会・NPOの企画力」	佐藤 隆夫	9月13日（土）10:00～12:00
2. 運営力講座	「子ども会・NPOの運営力」	佐藤 隆夫	9月14日（日）10:00～12:00
3. 指導力講座	「子ども会・NPOの指導力」	佐藤 隆夫	9月19日（土）10:00～12:00
4. 野外実習	「野外実習のリスクマネジメント」	佐藤 隆夫	10月4日（土）10:00～12:00
5. 野外実習	「野外実習のリスクマネジメント」	佐藤 隆夫	10月19日（日）10:00～12:00

●●● 申込み・問い合わせ先 ●●●
〒465-0111 名古屋市中区五区五丁目2-2 愛知県青年の家（岡崎市）〒465-0111 愛知県青年の家（岡崎市）〒465-0111 愛知県青年の家（岡崎市）
TEL: 0565-88-0000 FAX: 0565-88-0000 E-MAIL: yuugakou@pref.aichi.jp

講座ちらし裏面（日程及び募集要項）

（2）学習成果を活用したボランティア活動等の内容及び推進の方法

平成18年度から、小中学生が異年齢、異世代の交流をしながら体験活動を行う「子ども交流体験活動推進事業」（愛知県教育委員会主催）に、青年講座修了生は企画・運営スタッフとして関わった。平成18年度は県が実施母体となり、講座修了生をスタッフとして募り、講座で学んだ内容を実際に企画・運営に活用するノウハウを検証した。その結果を受けて、平成19、20年度は、県内5カ所で行われたモデル事業（市町村レベルの実行委員会に委託）に講座修了生がスタッフとして参加し、各事業の企画・運営に指導的立場で継続的に関わることで、学習の成果を十分に活用し、事業を効果的に推進することができた。



アイスブレイクをする講座修了生



凧づくりの指導をする講座受講生

(3) 推進体制等の仕組み

講座修了生と市町村と各種団体等が協働し企画・運営できる事業を愛知県教育委員会が実施したり、修了生と青少年教育関係団体等のコーディネートをすることによって、修了生が学習成果を実践の場で遺憾なく発揮し、活動範囲を広めていくことを推進している。

さらに修了生が多方面で活躍の場を広げることができるよう、ボランティアバンク等への登録をあっせんしている。

加えて、修了生の有志がNPOを起ち上げ、県内の青少年教育の活性化に向けて情報交換や活動支援を行っている。

4 成果と今後の取組

青年講座修了生は毎年度20～30名程度(平成20年度実績：修了生26名)であるが、「子ども交流体験活動推進事業」のスタッフとしては20～30代の修了生を中心に延べ197名が参加した。

修了生は、NPO、子ども会、ボランティア団体、キャンプ協会やレクリエーション協会などを拠点に地域に根ざし、地域の活性化に資する活動を行っており、平成20年度には、今までの講座修了生の有志がNPOを設立し、市町村を越えた情報交換や青少年教育活動支援を展開している。

また、子ども交流体験活動に携わったボランティアの学生が、講座修了生とともに活動する中で啓発され青年講座を受講するなど、次期指導者の育成の仕組みができた地域があることも評価できる。

今後は、市町村とも連携しながら、講座修了生が学習内容を発揮できる実践の機会を拡大できるよう努めるとともに、指導者として、市町村事業への派遣をコーディネートするなど学習成果を地域に還元できるような仕組みを整備していきたい。

【執筆者の職・氏名】愛知県教育委員会生涯学習課 教育主事 織部 匡久